

令和2年度 第1回日高市青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会 会議録

- 1 開催日時 令和2年8月26日(水) 午前11時～11時50分
- 2 開催場所 日高市役所3階 301会議室
- 3 公開・非公開 公開
- 4 非公開理由 なし
- 5 出席者 谷ヶ崎照雄会長、中村一夫委員、阿部俊司委員、稲村浩之委員、関口高広委員、伊藤輝雄委員、佐藤美笑子委員、荒井美穂委員、神田誠治委員、小泉光枝委員、山口永子委員、濱岡美保委員、小林雪子委員、渡辺将委員、山中由美子委員、吉田恵委員、岡野喜代子委員(17名)
- 6 説明員 教育センター指導主事藤田剛典
- 7 欠席者 堀尚人委員、岡田真彦委員、宮代智雅委員、山畑淳子委員(4名)
- 8 事務局 教育部長大野仁、教育部参事秋馬信之、学校教育課長志村憲一、教育センター所長利根川典正、生涯学習課長小鹿野高光、学校教育課指導主事下ノ坊圭、学校教育課学務担当主幹比留間徳也、教育センター指導主事澤田秀一、教育センター指導主事藤田剛典、生涯学習課生涯学習担当主幹吉野修、生涯学習課生涯学習担当主査松本康彦、生涯学習課生涯学習担当主任関口幸男
- 9 傍聴者 3人
- 10 協議事項
 - (1) 副会長の互選について
 - (2) 日高市いじめ防止等に関わる取り組みについて
 - (3) 各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策について
 - (4) その他
- 11 会議資料
 - ・次第
 - ・名簿
 - ・小・中学校におけるいじめの実態について
 - ・学校区・学年別「いじめの認知率」 資料1-1、1-2
 - ・学校別「いじめの態様」 資料2-1、2-2
 - ・学校別「いじめの発見のきっかけ」 資料3-1、3-2
 - ・各団体の活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書 資料4
- 12 会議の経過
 - (1) 副会長の互選について
山畑委員を副会長に、それぞれ全会一致で決定した。

(2) 日高市いじめ防止等に関わる取り組みについて

資料に基づき事務局より説明した。

- ・委員 資料 P.1 小・中学校におけるいじめの実態について、いじめが発生してから指導に入るまでどのくらいの期間がかかりますか。
- ・事務局 いじめを認知し、まず事実確認をした上で指導を進めています。いじめ事案によるが最短で数日、長くとも1週間近く時間を要する事案もあります。
- ・委員 資料P.1 いじめの認知件数の表について、平成30年度が小学校66件、中学校71件、令和元年度が小学校185件、中学校77件で、小学校が特に伸びている。いじめの態様として、誹謗中傷となる粗暴な発言や物の取り合いによるものが多いと思われるが、それ以外の理由はありますか。また、P.2 の学校区・学年別「いじめの認知率」を見ると、学年が上がるほどこんなに認知率が変わるものですか。
- ・事務局 いじめの態様で、誹謗中傷となる粗暴な発言や物の取り合いによるもの以外で多い態様は、冷やかしかからかいによるものです。
「いじめの認知率」について、学年が上がるほど認知率が上昇しているのは、学校が積極的にいじめを認知するようになったことが要因となっています。学校の姿勢が子どもたちにも浸透されてきました。これにより学年が上がるほど、小さなことでもこれはいじめであると意識し、認知できるようになるため認知率は変わるのだととらえています。
- ・委員 資料P.5 2 学校別「いじめの態様」(中学校)の図2-2中学校 いじめの態様の上段の「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句等」が67.5%と多いが、また、その下の「仲間はずれ、集団による無視」が14.3%でこれは、中学生くらいになると、いじめ重大事態となる可能性があると思われますので教育委員会の考え方を教えてください。
- ・事務局 部活動の人間関係のトラブルから生じる「仲間はずれ、集団による無視」が多い。認知しだい、直ぐに組織的に迅速に対応しています。
教育委員会では「いじめは、どの学校でも、どの子にも起こり得る」との認識のもと、学校にはいじめの積極的な認知とともに、未然防止、起きた際には組織的に対応するように指示しています。また学校では人権教育や道徳教育の推進による自尊感情の育成を進め、いじめ重大事態にないように努めています。
- ・委員 資料P.4 表を見ると認知件数が多い学校がある。最初は、いじめが起こっていると心配になり、どうなのかなと思っていた。
しかし数年前より国がいじめの積極的認知を進めた。いじめられた側が「いじめられている。」と思ったら、「いじめ」である。みなさんが、いじめ認知件数が多いから大変な学校だと誤解されるのではないかといつも心配している。
- ・会長 児童生徒が実施するアンケートは、共通のものでやっているのか。また

は各学校で違うのか。

- ・事務局 今までは、中学校はほぼ統一したもの、小学校に関しては小学校ごとになっていました。昨年度のいじめ問題委員会において、小学校のアンケートを検討、まだ周知していませんが、今年度よりやっていきます。
- ・会長 アンケート制度での設問の仕方が違うとか、同じ内容でやった方がよい。よく検討してほしい。把握の仕方、認識において答えやすいのではないか。いじめがあったときは早く芽を摘むこと。各学校で徹底してやってほしい。
- ・委員 いじめを早く探すこと、増やさないこと。大事なのは、そのなかに、いじめ重大事態につながること。早く見極めること。これから小中一貫教育が始まっているので、そのなかで小・中学校ともにより良い指導ができればよい。

(3) 各団体の活動実施状況及び青少年健全育成対策について

各団体より活動内容等報告書の提出があり、事務局の説明は省略した。

- ・委員 市保護司会の各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書の中の「※生徒指導主任と保護者との情報交換」とあるが、「※生徒指導主任と保護司との情報交換」に訂正してください。

(4) その他

- ・事務局 次回の会議の予定については来年2月を予定しているが、新型コロナウイルス感染症感染防止のため会議日程が決定したら通知します。